

2018年度成年後見人材育成研修（長野県）

事前課題1【成年後見制度の解説 事前課題】

設問1 法定後見制度の3類型について、それぞれの特徴点と違いを800字程度でまとめてください。

設問2 任意後見制度について説明し、法定後見制度と異なる任意後見制度の利点と問題点について、あなたの考えを800字程度で記述してください。

事前課題2【財産法の基礎 事前課題】

設問1（700字～1000字程度）

Aさんは、数年前から認知症を発症し、現在はかなり重度の認知症になっています。

Aさんにはほとんど預貯金が無く、財産と言えば今住んでいる自宅の建物とその土地だけです。

Aさんは結婚せず、子供もいません。世話をしてくれるのは弟Bだけです。

Bは、これ以上自分だけでAの世話をするのは限界だと考え、Aを施設に入所させ、この自宅の建物とその土地を売却して、Aの生活費に充てようと考えています。この売却がうまくいかないと、Bは自腹を切ってAを支えなければならなくなるのが目に見えています。ただし、Bは成年後見人ではありません。

- (1) Bは、Aを施設に入所させるための契約を締結することはできますか？
- (2) Bは、この不動産を買ってくれるという人Xを見つけました。BはXに売却することはできますか？
- (2) あなたがAの成年後見人に就任し、Bから不動産を売却して欲しいと頼まれた場合、あなたはどうか対応し、何に注意しますか？

設問2（400字～600字程度）

あなたは甲の成年後見人に就任しました。

甲の財産の中に、「金銭消費貸借証書」と書かれた書類があり、そこには貸主甲、借主乙と署名があり、印鑑も押してあります。金額は100万円でした。

これを見つけた時、あなたは何に注意しなければならないですか？

また、乙が返済していないようだと思ったとき、どのように対応しますか？

※裏面に提出期限等、注意事項があります。

下記の提出期限までに取り組んでください。

提出期限 7月9日（月）【当日消印有効】

長野県社会福祉士会事務局まで郵送してください。

あて先

〒380-0836

長野市南県町685-2 長野県食糧会館6階

- ※パソコン等での作成も可能です。書式等のデータは、長野県社会福祉士会ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。
- ※指定の文字数に満たない場合、内容が不十分である場合には再提出を求めることがあります。
- ※レポート提出票は問題1つにつき1枚必要です。
- ※万一に備えて、お手元にコピーを保管しておいてください。
- ※今回同封いたしました原稿用紙・提出票は、研修中にも必要となります。余ったものについては、保管しておくようお願いします。